

2022 年 11 月 22 日

正常状態／変化状態を AI が学習し、変化時にアラームで通知
AI ネットワークカメラ用の機能拡張ソフトウェア
「AI 状態変化検知アプリケーション」を販売開始



i-PRO(アイプロ)株式会社（東京都港区、代表取締役社長 尾崎 祥平、以下 i-PRO）は、AI プロセッサ搭載のネットワークカメラ用アプリケーションとして、正常状態／変化状態を AI が学習し、変化時にアラームを通知する機能拡張ソフトウェア「AI 状態変化検知アプリケーション」の販売を、2023 年 1 月から開始します。



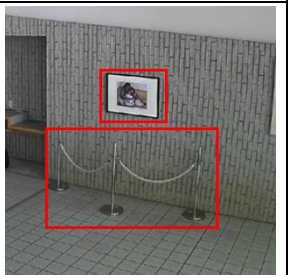

例えば、展示物の持ち去り検知、商品棚の欠品検知、扉の開放検知、車の停車検知など、変化を検知して素早い対応が必要となるシーンで活用いただけます。

■商品の概要

1. 最大 3 個の学習モデルを保存可能

AI カメラにインストール^{※1}した本アプリケーションに複数枚の画像を学習させ^{※2}、学習したモデルと比べて、撮影されている画像の状態が変化した場合を状態変化と認識／検知して、アラームを通知するものです^{※3}。

学習モデルは最大 3 個保存できますので、環境や状況に応じて、変化を検知したいシチュエーションが変わる場合でも柔軟にご利用いただけます。

ドアの開閉検知	欠品の検知	置き去り・持ち去りの検知	車の停車検知 ^{※4}
			

※1：本アプリケーション利用時には対象カメラにおいて SD メモリーカードが装着されている必要があります。

※2：10 枚（学習時間 3 分）～200 枚（学習時間 10 分）の画像が必要です。

※3：特定の人や車を識別したり、その人や車の動作における異常な動きを検知したりするものではありません。

※4：車としては認識していませんので、車以外のもので画像の変化があった場合も、状態変化と判定します。

2. 学習モデルは、正常/状態変化後のどちらでも設定可能

カメラに保存された画像から学習を行う際、その結果を「正常」と認識するか「状態変化後」と認識するかを選択可能です。条件や環境に応じて活用いただけます。

展示物の持ち去り検知	商品棚の欠品検知
	
<p>展示物がある状態を「正常」と学習させる ⇒ 展示物が無くなると通知</p>	<p>棚に何も無い状態を「状態変化後」と学習させる ⇒ 棚にモノがあれば正常と認識。無くなると通知</p>

3. 学習・設定は iCT のガイダンスで簡単

i-PRO 設定ツール（iCT）のガイダンスに沿って、カメラへの学習用画像の保存や学習指示を行えるため、手順に迷うことなく学習や設定が可能です。

■品名・品番など

品名	品番	価格	発売時期
AI 状態変化検知アプリケーション	WV-XAE400W	オープン	2023 年 1 月

・技術仕様詳細については、i-PRO コンポーネント Web カタログ (<https://cwc.i-pro.com/>) で公開しています。

■i-PRO について

i-PRO 株式会社は、セキュリティ監視、パブリックセーフティ、そして医療用イメージングの各分野に欠かせないセンシングソリューションの世界的なリーディングカンパニーです。パナソニックにおける 60 年以上にわたる数々のセンシング技術とイノベーションを継承し、2019 年に設立されました。

私たちは、一瞬も見逃さない高度なセンシング技術とあらゆる環境に対応する信頼性の高いソリューションで、人々の命を守り救うプロフェッショナルをサポートし、より安心安全な社会の実現に貢献します。

<https://i-pro.com/corp/jp/>

< 本製品に関するお客様からのお問い合わせは >

i-PRO カスタマーコンタクト (<https://japancs.i-pro.com/page/inquiry>) までお願いいたします。

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先】 ジャパンリージョン 担当・竹林 E-mail mai.takebayashi@i-pro.com